

平成25年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 久世

コード番号 2708 URL <http://www.kuze.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営サポート本部長

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

(氏名) 久世 健吉

(氏名) 加藤 広忠

TEL 03-3987-0018

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		(%表示は、対前年同四半期増減率)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,238	11.1	134	—	210	483.1	100	164.4		
24年3月期第2四半期	24,511	6.4	△31	—	36	△65.6	38	—		

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 62百万円 (43.0%) 24年3月期第2四半期 43百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	26.03	—	—
24年3月期第2四半期	9.84	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年3月期第2四半期	18,785		4,189		22.3	
24年3月期	17,435		4,173		23.9	

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 4,189百万円 24年3月期 4,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
24年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	12.00
25年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	
25年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	54,000	5.8	450	18.4	500	22.4	250	43.8	64.45	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) KISCO FOODS INTERNATIONAL LTD 、除外 一社 (社名) TED

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	3,882,500 株	24年3月期	3,882,500 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,478 株	24年3月期	3,478 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	3,879,022 株	24年3月期2Q	3,879,022 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。  
・当社は、平成24年11月27日(火)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興特需等により景気は緩やかな回復基調にあるものの、欧州の債務問題や新興国経済の景気減速懸念等による世界経済の減速感が増す中、円高・株安およびデフレの長期化等、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、全般的に消費者の節約志向、低価格志向は続き、今後さらに環境税導入等による電気料金の値上げおよび原材料の高騰が予想される等、ますます厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは「第二次C&G経営計画」（平成24年4月～平成27年3月）の初年度にあたり、「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」、「三大都市圏No.1」の実現を目指し、諸施策の実行・推進と営業利益の向上を活動方針に取り組んでまいりました。また、海外事業の基盤確立のために、平成24年5月中国四川省成都市に久華世（成都）商貿有限公司を設立し、海外での業務用食材卸売事業の取り組みを始めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は272億38百万円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益1億34百万円（前年同四半期31百万円の営業損失）、経常利益2億10百万円（前年同四半期比483.1%増）、四半期純利益1億円（前年同四半期比164.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、引き続き首都圏エリアでの積極的な営業強化を進めました。また中京圏および関西圏エリアにおきましても新規顧客の獲得や既存顧客の深耕等積極的な営業強化に取り組みました。中京圏エリアでは、酒類販売業の株式会社サカツコーポレーションと業界を越えた業務提携を結び、販路拡大に取り組んでおります。さらに生鮮野菜の販売では、業務改善と物流効率化の徹底を図り収益の向上に努めてまいりました。

このような結果、売上高は254億78百万円と前年同四半期と比べ24億18百万円（10.5%）の増収、セグメント利益（営業利益）は4億74百万円と前年同四半期と比べ1億89百万円（66.1%）の増益となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、引き続き自社ブランド商品の販売強化に努め、また継続的な品質向上とコストダウンにも取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は17億69百万円と前年同四半期と比べ3億9百万円（21.2%）の増収、セグメント利益（営業利益）は75百万円と前年同四半期と比べ31百万円（71.8%）の増益となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は76百万円と前年同四半期と比べ0百万円（0.4%）の増収、セグメント利益（営業利益）は59百万円と前年同四半期と比べ0百万円（△1.6%）の減益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億49百万円増加し、187億85百万円となりました。これは主として現金及び預金が11億26百万円、有形固定資産が1億70百万円増加し、投資その他資産のその他が2億11百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ13億34百万円増加し、145億95百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が12億54百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、41億89百万円となりました。これは主として利益剰余金が54百万円増加し、その他有価証券評価差額金が27百万円、為替換算調整勘定が11百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.9%から22.3%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して17億25百万円増加し、48億8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して7億61百万円増加し、12億89百万円の収入となりました。これは税金等調整前四半期純利益が2億7百万円、仕入債務の増加額が12億31百万円、売上債権の増加額が88百万円、たな卸資産の増加額が1億13百万円であったことが主たる要因であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して1億88百万円増加し、1億15百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が90百万円であったことが主たる要因であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して1億71百万円減少し、64百万円の支出となりました。これは長期借入れによる収入が3億円、長期借入金の返済による支出が2億93百万円、配当金の支払額が45百万円であったことが主たる要因であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での通期連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において、持分法適用非連結子会社であったKISCO FOODS INTERNATIONAL LIMITEDについては、経営戦略上の重要性が増したことから、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に加えています。

変更後の連結子会社数は、3社です。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	4,042,477	5,169,328
受取手形及び売掛金	6,946,174	7,054,091
商品及び製品	1,697,990	1,803,356
原材料及び貯蔵品	142,357	200,937
その他	761,866	781,924
貸倒引当金	△45,770	△56,547
流动資産合計	13,545,095	14,953,091
固定資産		
有形固定資産	1,781,033	1,951,772
無形固定資産	112,155	93,474
投資その他の資産		
その他	2,072,635	1,861,244
貸倒引当金	△75,593	△74,260
投資その他の資産合計	1,997,042	1,786,983
固定資産合計	3,890,231	3,832,229
資産合計	17,435,326	18,785,321
<b>負債の部</b>		
流动負債		
支払手形及び買掛金	9,461,051	10,715,575
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	583,988	726,662
未払法人税等	122,737	130,830
賞与引当金	173,912	193,300
その他	1,174,317	1,241,137
流动負債合計	11,556,006	13,047,506
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	1,060,856	924,688
退職給付引当金	154,216	159,715
役員退職慰労引当金	175,476	181,576
その他	234,893	222,470
固定負債合計	1,705,441	1,548,450
負債合計	13,261,448	14,595,956
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302,250	302,250
資本剰余金	291,900	291,900
利益剰余金	3,443,521	3,497,929
自己株式	△1,722	△1,722
株主資本合計	4,035,949	4,090,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,805	93,367
為替換算調整勘定	17,122	5,641
その他の包括利益累計額合計	137,928	99,008
純資産合計	4,173,877	4,189,364
負債純資産合計	17,435,326	18,785,321

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	24,511,688	27,238,774
売上原価	20,532,336	22,683,086
売上総利益	3,979,351	4,555,687
販売費及び一般管理費		
給料	846,301	891,385
賞与引当金繰入額	134,850	173,375
役員退職慰労引当金繰入額	7,150	6,100
運賃	1,879,641	2,042,265
貸倒引当金繰入額	10,700	12,070
その他	1,132,235	1,295,666
販売費及び一般管理費合計	4,010,879	4,420,862
営業利益又は営業損失(△)	△31,528	134,824
営業外収益		
物流業務受託収入	22,675	20,940
協賛金収入	68,560	73,951
その他	64,452	71,221
営業外収益合計	155,687	166,113
営業外費用		
物流業務受託収入原価	32,867	26,112
催事等振替原価	31,378	32,377
その他	23,836	32,087
営業外費用合計	88,082	90,577
経常利益	36,077	210,360
特別利益		
退職給付制度改定益	61,018	—
特別利益合計	61,018	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2,456
固定資産除却損	6,500	—
特別損失合計	6,500	2,456
税金等調整前四半期純利益	90,595	207,904
法人税、住民税及び事業税	35,859	128,099
法人税等調整額	16,551	△21,150
法人税等合計	52,411	106,948
少数株主損益調整前四半期純利益	38,184	100,955
四半期純利益	38,184	100,955

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,184	100,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,192	△27,438
為替換算調整勘定	—	△11,481
その他の包括利益合計	5,192	△38,920
四半期包括利益	43,377	62,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,377	62,035
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	90,595	207,904
減価償却費	90,149	92,579
固定資産売却損益（△は益）	—	2,456
固定資産除却損	6,500	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5,379	9,443
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,665	19,388
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△85,886	5,499
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△15,333	6,100
退職給付制度改定益	△61,018	—
受取利息及び受取配当金	△8,305	△12,844
支払利息	9,168	10,275
売上債権の増減額（△は増加）	△795,047	△88,247
たな卸資産の増減額（△は増加）	△102,819	△113,498
その他の資産の増減額（△は増加）	△59,305	△4,748
仕入債務の増減額（△は減少）	1,397,168	1,231,936
その他の負債の増減額（△は減少）	188,261	44,947
小計	656,840	1,411,192
利息及び配当金の受取額	4,935	8,198
利息の支払額	△9,532	△9,176
法人税等の支払額	△133,188	△120,394
法人税等の還付額	9,752	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>528,807</b>	<b>1,289,820</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,097	△15,042
有形固定資産の取得による支出	△21,894	△90,245
有形固定資産の売却による収入	—	933
資産除去債務の履行による支出	△1,933	—
無形固定資産の取得による支出	△800	△1,018
投資有価証券の取得による支出	△261,644	△4,890
貸付けによる支出	△7,944	△1,800
貸付金の回収による収入	1,387	1,990
その他投資等の取得等による支出	△18,076	△20,896
その他投資等の解約等による収入	21,861	15,044
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△304,142</b>	<b>△115,925</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	440,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△260,996	△293,591
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△5,704	△4,943
配当金の支払額	△46,388	△45,954
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>106,910</b>	<b>△64,488</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△99
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	331,575	1,109,307
現金及び現金同等物の期首残高	2,751,558	3,696,994
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,502
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>3,083,134</b>	<b>4,808,803</b>

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	23,045,219	1,460,607	5,860	24,511,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,258	—	70,557	84,815
計	23,059,478	1,460,607	76,418	24,596,504
セグメント利益	285,808	43,667	60,731	390,206

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

## 当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	390,206
セグメント間取引消去	5,935
全社費用（注）	△427,669
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△31,528

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	25,462,870	1,769,760	6,142	27,238,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,468	—	70,557	86,025
計	25,478,338	1,769,760	76,700	27,324,799
セグメント利益	474,868	75,007	59,734	609,609

(注) 「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の各セグメント利益に与える影響は軽微であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び  
当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	609,609
セグメント間取引消去	4,051
全社費用（注）	△478,837
四半期連結損益計算書の営業利益	134,824

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。